

本邦航空会社初、チェックイン時のタッチパネル非接触化を実施

～「JAL SMART AIRPORT」の非接触・抗ウイルス化の取り組みを進めます～

2021年3月22日

第 20105号

- 本邦航空会社初、空港内の自動チェックイン機、自動手荷物預け機のタッチパネルを非接触化します。
- 空港内の抗ウイルス・抗菌コーティングを進めています。

JAL は現在、「JAL SMART AIRPORT(*1)」の取り組みとしてすべてのお客さまに安全・安心な空の旅をお届けするよう、新型コロナウイルス感染症予防対策の取り組みを実施しています。

(*1) IT の活用によるきめ細やかなヒューマンサービス、最新技術の活用による効率的で快適なセルフサービス、衛生・清潔への取り組みにより提供する JAL の新しい空港です。

1. 自動チェックイン機、自動手荷物預け機のタッチパネル非接触化



【1】概要

空港内の自動チェックイン機、自動手荷物預け機にタッチレスセンサ(*2)を取り付けることで、操作画面に直接触れることなく、ご搭乗手続きや手荷物タグの発行(*3)をしていただけます。タッチレスセンサから出る赤外線(*4)により、お客さまは画面に触れることなく機器を操作することができます(*5)。

(*2)日本エアロスペース株式会社の製品 <https://www.j-aero.co.jp/products/airclick/>

(*3)自動チェックイン機での手荷物タグの発行は現在羽田空港のみで実施いただけます。

(*4) タッチレスセンサから出る赤外線は一般家庭用機器で使用されるものと同じです。

(*5)画面からの距離は自動チェックイン機: 2.5cm, 自動手荷物預け機: 4cm で設定。

【2】導入時期・場所について

- ◆ 3月22日以降 羽田空港国内線の自動チェックイン機・自動手荷物預け機に順次展開
- ◆ 4月以降 札幌(新千歳)、大阪(伊丹)、福岡、沖縄(那覇)空港に展開予定

2. 空港内の抗ウイルス・抗菌コーティングの展開について

お客さまが直接手を触れるチェックインカウンターや機器、車両などへの抗ウイルス・抗菌のコーティングを順次進めています(*6)。使用するコーティング液(*7)は皮膚への刺激性も少なく安全性が高く、コーティング加工面において、3~5年にわたって特定のウイルスを99.9%減少させる効果が確認されています。この加工技術は株式会社 JAL グランドサービスと JAL スカイエアポート沖縄株式会社のスタッフが習得しており、早期に全国空港へ展開することを目指しています。

(*6) 3/22 時点で、羽田空港国内線ターミナルでは、カウンターと各種機器、ステップ車へのコーティングが完了しています。また、札幌(新千歳)・大阪(伊丹)・東京(成田)・福岡・沖縄(那覇)空港では、カウンターの一部と自動チェックイン機、ステップ車へのコーティングが完了しています。

(*7) 「SEIKADOU SRW-30」液を用いた「SIAA 抗ウイルス+抗菌認証加工」。



3. 空港での安全・安心の取り組みについて

お客さまに安全・安心にご利用いただくため、JAL では空港で以下の取り組みを徹底して行っております。お客さまと共に常に衛生的で清潔な環境を作り、安心いただける空の旅を提供してまいります。

- ・地上係員のマスクの着用
- ・お手続きカウンターへのパーティション設置
- ・消毒液の配備
- ・定期的な清掃
- ・保安検査場にてサーモカメラによる検温
- ・ソーシャルディスタンス確保の案内設置
- ・お客さまの人数を区切ったの機内へのご案内



4. JAL SMART AIRPORT の今後の展開について

現在以下のスケジュールで展開を予定しています。

- 2021年 夏 札幌(新千歳)空港へ展開
- 2021年 冬 大阪(伊丹)空港へ展開
- 2021年 冬 沖縄(那覇)空港へ展開
- 2022年 春 福岡空港へ展開



JAL は今後も、最新のテクノロジーを駆使し、空港や機内などさまざまなシーンにおいて、衛生的で清潔な環境でお客さまをお迎えするための取り組みを強化し、安全・安心なサービスの提供に努めてまいります。

以上